

全国公立幼稚園・こども園教育研究協議会 香川大会

全国公立幼稚園・こども園長会（会長 眞輪恵美・東京都中央区立有馬幼稚園園長）などは7月29日、第69回全国公立幼稚園・こども園教育研究協議会香川大会を開催した。香川県での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催となった。研究主題は「子どもの豊かな未来につなぐ幼児教育の今」を考える〜こいっばい 体いっばい 遊びこむ子どもを育てよう〜。研究発表、五つの分科会、ポスター発表を実施し、どの子どもにも質の高い教育環境が保障され、豊かな未来につなぐ、幼児期にふさわしい教育の在り方を考える。研究主題は「子どもの豊かな未来につなぐ幼児教育の今」を考える〜こいっばい 体いっばい 遊びこむ子どもを育てよう〜。研究発表、五つの分科会、ポスター発表を実施し、どの子どもにも質の高い教育環境が保障され、豊かな未来につなぐ、幼児期にふさわしい教育の在り方を考える。



オンラインで開かれた香川大会の画面

園経営などで 研究を発表

研究発表は、①教育課題 ②教育内容③園経営の3テーマで実施。教育課題は新潟大学附属幼稚園、教育内容は山形大学附属幼稚園、園経営は神戸久保篤子・幼児教育課教科

指導講師は、文科省の小久保篤子・幼児教育課教科

園と新潟大学附属幼稚園をヒテオ会議システムでつなぎ、3園合同オンライン運動会を開催した。

その後、一人の子どもの「他の園は何しているのかな？」という一言から、手紙の交流を行うことになった。2園から届いた手紙を、読んだ子どもは「後は一緒に本気の運動会をやりたいな」とつぶやくなど、願いを膨らませていった。

「園の強みと弱みを意識した教育課程の編成」では、「未来の創り手となる心豊かにたくましい子ども像」について職員間で具体的な姿を出し合い、共有した。続いて、園の強みと弱みについて話し合い、自然との関わりを特に意識して取り組む事項とした。

3園合同でオンライン運動会

新潟大学附属幼稚園

教育課題について発表した新潟大学附属幼稚園は、「子ども発 社会に開かれた教育課程の実現」「つながりから『つながりたい』へ」をテーマに研究に取り組んだ。「子どもの思いと社会の思いをつなぎ、子どものやりたい活動を共に推進する体制を構築するために考えた。行動し

体で行う体制の構築の思いを実現する諸機関との体制づくりの2項目。①では「子どもの思いを育む保育の充実」と「子どもの思いの見取りと共有」、②では「いつでもつながれる関係

「他園は何しているのかな？」という一言から、手紙の交流を行うことになった。2園から届いた手紙を、読んだ子どもは「後は一緒に本気の運動会をやりたいな」とつぶやくなど、願いを膨らませていった。

「P D C A サイクルの継続的取り組み」では、目指す子ども像に向かって全職員で計画的にカリキュラム改善に取り組み、特に実際の子ども姿から評価、改善を図ることを丁寧に行った。「職員の同僚性を高める」では、職員が多様な見方や考え方に触れる機会として「週1カンファレンス」を実施した。

「遊び込む子ども」の姿分析

山形大学附属幼稚園

山形大学附属幼稚園が取り組んだ教育内容について「遊び込む子ども」の姿を「状況を更新しながら遊

び、課題を自ら生成し、遊びを展開していく子ども」

「未来の創り手となる心豊かにたくましい子ども」を成を目指す。保育者一人一人の資質向上とチーム力をアップが必要であると

「職員の同僚性を高める」では、職員が多様な見方や考え方に触れる機会として「週1カンファレンス」を実施した。

カリ・マネ通し組織力向上

神戸市立たまつ幼稚園

神戸市立たまつ幼稚園は「未来の創り手となる心豊かにたくましい子ども」を成を目指す。保育者一人一人の資質向上とチーム力をアップが必要であると

「未来の創り手となる心豊かにたくましい子ども」を成を目指す。保育者一人一人の資質向上とチーム力をアップが必要であると